

船橋市委託設計業務等成績評定要領

(目的)

第1条 この要領は、建設事業に係る委託設計業務等の成績評定（以下「評定」という。）に必要な事項を定め、厳正かつ的確な評定の実施を図り、もって建設コンサルタント等並びに技術者の適正な選定及び指導育成に資することを目的とする。

(認定の対象)

第2条 この要領において評定の対象となる委託設計業務等（以下「委託業務」という。）は、次の各号に掲げる業務をいう。

- 一 土木設計業務
- 二 建築設計業務
- 三 測量業務
- 四 地質土質調査業務

2 評定は、土木設計業務と建築設計業務については1件の業務委託料が500万円以上、測量業務と地質土質調査業務については1件の業務委託料が100万円以上の委託業務について行うものとする。

(認定者)

第3条 委託業務の評定者（以下「評定者」という。）は、検査職員及び総括監督員、主任監督員（監督員）とする。

(評定の方法)

第4条 評定は、委託業務ごと、評定者ごとに独立して的確かつ公正に行うものとする。

- 2 評定にあたっては、別紙「成績評定考査基準」より行うものとする。
- 3 修補を指示した場合には、修補前の状態で評定し、修補後の評定は行わないものとする。

(評定の時期)

第5条 検査職員である委託業務の評定者は検査を実施したとき、総括監督員及び主任監督員（監督員）である委託業務の評定者は委託業務が完了したとき、それぞれ評定するものとする。

(認定結果の受注者への通知)

第6条 土木設計業務と建築設計業務については1件の業務委託料が500万円以上、測量業務と地質土質調査業務については1件の業務委託料が100万円以上の委託業務については、「委託業務検査結果通知書」(第5号様式)の委託業務成績評定点欄に、委託業務成績評定表の評定点合計を記入し受注者に書面通知するものとする。

(認定の修正)

第7条 第6条の通知をした後、関係法令違反、事故等により瑕疵が判明したときは、当該評定を修正するものとする。

2 前項の修正を行ったときは、遅滞なく、その結果を受注者に通知するものとする。

附 則

(施行期日)

1 この要領は、平成19年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この要領の施行の日前に契約した委託業務については、なお従前の例による。

附 則

この要領は、令和2年9月1日から施行する。

成績評定考査基準

1 評定表の考査基準

(1) 土木設計業務、測量業務、地質調査業務

項 目	細 目
専門技術力	提案力、改善力
	業務執行技術力
	施工時への配慮（注）
	コスト把握能力（注）
管理技術力	工程管理能力
	品質管理能力
	迅速性、弾力性、調整能力
コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、協調性
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観
成果品の品質	

注)「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は、設計業務のみ評定の対象とする。

(2) 建築設計業務

項 目	細 目
業務の実施能力	業務の実施体制
	監理技術者
	主任担当技術者
業務の実施状況	工程及び品質管理能力
	調整能力、対応の迅速性、説明能力、倫理観
	提案力、業務執行技術力
	工程
設計図書の出来栄	図面表記
	図面の不足・単純ミス
	資料等の整理
	数量計算書、数量調書等
	資料の整理
設計の達成度	設計と条件の理解
	提案内容、検討状況、コスト把握能力
	施工面の知識

2 総括監督員考査基準

(1) 考査方法

総括監督員は、評定趣旨を十分に理解し尊重した上で、それぞれ総合的に評定を行う。(評価項目、評価の視点及び評価細目の変更、追加、削除並びに配点の変更は行わないものとする。)

(2) 評定点範囲

採点表(総括監督員用)の該当評価項目について、それぞれ総合的に判断して評定するものとする。

(3) 事故等による減点

当該業務遂行中に受注者に起因する事故等が発生し指名停止等の措置を行った場合には、当該業務の総合評定点(100点満点換算)に対して、別表 1を参考として-15点まで減点することができる。

別表 1 受注者に起因する事故等が発生した場合の減点基準

区分	口頭注意	文書注意	指名停止 1ヶ月まで	指名停止 1ヶ月を越える
考査点	- 3点	- 5点	- 10点	- 15点

【適応事例】

- ・入札前に提出した当該業務の技術提案書等が虚偽であった事実が判明した。
- ・発注者の承諾なしに当該業務に関する権利義務、成果物を第三者に譲渡又は承継、公開した。
- ・産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。
- ・一括再委託を行った。
- ・打ち合わせ協議または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。
- ・当該業務において過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検された。
- ・当該業務において安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた業務関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。
- ・その他

(4) 瑕疵修補及び損害賠償による減点

成果品に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約書の瑕疵担保条項等に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合には、当該業務の総合評定点(100点満点換算)に対して、別表 2を参考として20点まで減点することができる。

ただし、ここでいう瑕疵修補とは、軽微なミス of 修正ではない大幅な修補をいう。また、総合評点が採点された後に当該事象が発生した場合は、遡って減点を実施するものとする。

別表 2 瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点基準

区分	瑕疵修補又は損害賠償の実施	故意又は重大な過失により 瑕疵修補又は損害賠償の実施
考查点	10点	-20点

3 主任監督員（監督員）及び検査職員考查基準

評定にあたっては、当該業務の履行状況に応じ、加減点要素の各項目に従って、評定を行うものとする。（評価項目、評価の視点及び評価細目の変更、追加、削除、並びに配点の変更は行わないものとする。）

4 対象業務が複数の業務にまたがる場合の取扱い

対象業務が、「設計業務」「測量業務、地質土質調査業務」のうちの複数の業務にまたがる場合においては、業務の目的、金額を勘案し、原則として主たる業務の考查をもって評定点とみなすものとする。

これらの取扱いは、総括監督員、主任監督員（監督員）及び検査職員で統一するものとする。

5 採点表の選定について

対象業務が複数にまたがる場合の取扱いは、総括監督員が決定する。

6 技術者の評定について（土木設計業務・測量業務・地質土質調査業務）

各技術者の評定点は、業務に対する評定点のうち、以下の評価項目を抽出して「7 総合評定点について」の重み付けを考慮して付加する。

評価項目		管理技術者又は 業務主任技術者	担当技術者 (注1)	照査技術者
専門技術力	提案力、改善力			
	業務執行技術力			
	施工時への配慮 (注2)	概略設計、予備設計		
		詳細設計		
コスト把握力（注2）				

管理技術力	工程管理能力			
	品質管理能力			
	迅速性、弾力性、調整能力			
コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、 強調性			
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観			
成果品の品質				

注) 1. 「担当技術者」はそれぞれ3人までとする。

2. 「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は、設計業務のみ評価の対象とする。

7 総合評定点について（土木設計業務・測量業務・地質調査業務）

総合評定点を算出する際には、対象業務に応じて各評価項目ごとに以下の重み付けを考慮する。

評価項目		設計業務			測量業務・地質調査業務					
		業務 評 定	技術者評価			業務 評 定	技術者評価			
			管理	担当 (注1)	照査		管理 又は 主任 (注1)	照査		
専 門 技 術 力	提案力、改善力	2	2	2		2	2	2		
	業務遂行技術力	4	4	4		4	4	4		
	施工時へ の配慮 (注2)	概略設計 予備設計	1	1	1					
		詳細設計	1	1	1					
	コスト把握能力 (注2)	1	1	1						
管 理 能 力	工程管理能力	2	2			2	2			
	品質管理能力	2	2		2	2	2		2	
	迅速性、弾力性、調整能力	1	1			1	1			
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 力	説明力、プレゼンテーション力、 強調性	1	1	1		1	1	1		
取 組 姿 勢	責任感、積極性 倫理観	2	2	2		2	2	2		
成果品の品質		7	7	4	1	7	7	4	1	
合 計		23	23	15	3	21	21	13	3	

注) 1. 「担当技術者」は3人までとする。

2. 「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は、設計業務のみ評定の対象とする。

8 建築設計業務評定点集計表作成方法について

(1) 監督職員の評定

各分野評定点の合計は、各分野評定点に各分野比率を乗じて得た点の総計とし、少数第二位を四捨五入する。

なお、各分野比率は、下表を参考として、合計が1.0になるように業務量に応じて比例配分する。

別表 3 発注方法による各分野比率

発注方法	建 築			電気設備		機械設備	
	意匠	構造	積算	電気設備	積算	機械設備	積算
設計・積算込みの場合 (建築・設備込み)	0.35	0.15	0.10	0.15	0.05	0.15	0.05
〃 (建築のみ)	0.58	0.25	0.17				
〃 (設備のみ)				0.38	0.12	0.38	0.12
設計のみの場合 (建築・設備込み)	0.42	0.18		0.20		0.20	
〃 (建築のみ)	0.70	0.30					
〃 (設備のみ)				0.50		0.50	

監督職員(総合)評定点は、総合評定点及び各分野評定点の合計に比率を乗じて得た点の総計とし、少数第二位を四捨五入する。

なお、比率は、総合評定点0.2、各分野評定点の合計0.8とする。

監督職員の評定点は、総括監督員評定点及び主任監督員(監督員)評定点に比率を乗じて得た点の総計とし、小数第一位を四捨五入して整数にする。

なお、比率は、総括監督員評定点0.3、主任監督員(監督員)評定点0.7とする。

(2) 検査職員の評定

検査職員の評定点は、各分野評定点に各分野比率を乗じて得た点の総計とし、小数第一位を四捨五入して整数にする。

なお、各分野比率は、別表 3 を参考として、合計が 1 . 0 になるよう業務量に応じて比例配分する。

(3) 総合評定点

総合評定点は、監督職員の評定点及び検査職員の評定点にそれぞれ監督職員は 0 . 6、検査職員は 0 . 4 の比率を乗じて得た点の総計とし、小数第一位を四捨五入して整数にする。

なお、各分野比率は、別表 3 を参考として、合計が 1 . 0 になるよう業務量に応じて比例配分する。

別記第1号様式

土木設計業務・測量業務・地質土質調査業務

委託業務成績評定表										
								年	月	日
所属名										
委託業務名										
業務委託料		当初:				最終:				
履行期間		当初: 年 月 日		～ 年 月 日		最終: 年 月 日		～ 年 月 日		
完了年月日		年 月 日								
完了検査年月日		年 月 日								
受注者住所氏名										
管理技術者氏名										
照査技術者氏名										
主任技術者氏名										
担当技術者氏名①										
担当技術者氏名②										
担当技術者氏名③										
総括監督員氏名										
主任監督員氏名										
監督員氏名										
検査職員氏名										
評価項目		主任監督員 (監督員) 評定点 ②	総括監督員 評定点 ④	検査職員 評定点 ⑥	評定点 ⑦ =②+④ +⑥	業務 評定 ⑨	技術者評定 ⑨			
							管理 技術者 主任 技術者	担当 技術者	照査 技術者	
専門技術力	提案力、改善力		—	—					—	
	業務執行技術力								—	
	施工時への配慮	概略設計、 予備設計		—	—					—
		詳細設計		—	—					—
	コスト把握力		—	—					—	
管理技術力	工程管理能力		—	—					—	
	品質管理能力		—	—					—	
	迅速性、弾力性、 調整能力		—	—					—	
コミュニケーション力	説明力、 プレゼンテーション力、 協調性		—	—					—	
取組姿勢	責任感、積極性倫 理観			—					—	
成果品の品質			—	—					—	
⑩ 評価項目評定計		—	—	—	—					
⑪ 事故等による減点		—	—	—	—					
⑫ 瑕疵修補 又は損害賠償による減点		—	—	—	—					
⑬ 総合評定点=⑩+⑪+⑫		—	—	—	—					
所見 (必ず記載すること)		主任監督員 (監督員)			総括監督員		検査職員			

注) 「施工時の配慮」及び「コスト把握能力」は設計業務のみ評定の対象とする

委 託 業 務 成 績 評 定 表		年 月 日	
所属名			
委 託 業 務 名			
業 務 委 託 料	当初： 円	最終： 円	
履 行 期 間	当初： 年 月 日 ~ 年 月 日		
	最終： 年 月 日 ~ 年 月 日		
完 了 年 月 日	年 月 日		
完 了 検 査 年 月 日	年 月 日		
受 注 者 住 所 氏 名			
管 理 技 術 者 氏 名			
照 査 技 術 者 氏 名			
担当主任技術者氏名 (建築意匠)			
担当主任技術者氏名 (建築構造)			
担当主任技術者氏名 (電気設備)			
担当主任技術者氏名 (機械設備)			
担当主任技術者氏名 (積 算)			
総 括 監 督 員 氏 名			
主 任 監 督 員 氏 名			
監 督 員 氏 名			
検 査 職 員 氏 名			
①	監督職員の評定点	点	
②	検査職員の評定点	点	
③	監督職員と検査職員との総計 ③=①×a+②×b	点	
④	事故等による減点	点	
⑤	瑕疵修補又は損害賠償による減点	点	
⑥	総合評定点 ⑥=③-④-⑤	点	
(注) 設計業務 ; a=0.6 b=0.4			
所 見 (必ず記載すること)	主任監督員 (監督員)	総括監督員	検査職員

(1)土木設計業務

評定点集計表

評価項目	評価の視点	主任監督員(監督員)		総括監督員		検査職員		評定点 (注2)	業務評定		技術者評定													
		得点	調整後の 評定点	得点	調整後の 評定点	得点	調整後の 評定点		評定点	管理技術者、主任技術者		担当技術者(注1)		照査技術者										
										重み	加重平均点の算出 = /満点	評定点	重み	加重平均点の算出 = /満点	評定点	重み	加重平均点の算出 = /満点							
																		重み	加重平均点の算出 = /満点	評定点	重み	加重平均点の算出 = /満点		
専門技術力	提案力、改善力 (加点評価)	業務着手段階における業務特性等の考慮	1	=				=	x	2	/200	x	2	/200	x	2	/200							
		業務遂行段階における提案	1	=				=	x	2	/200	x	2	/200	x	2	/200							
		業務遂行上必要となる課題の提案	1	=				=	x	2	/200	x	2	/200	x	2	/200							
	小計		=	=				=	(8.3%)			(8.3%)			(12.5%)									
	業務執行技術力	目的と内容の理解		=				=	x	4	/400	x	4	/400	x	4	/400							
		必要情報の把握		=				=	x	4	/400	x	4	/400	x	4	/400							
		検討項目、検討手法 打ち合わせ資料の内容(減点評価)	2	=				=	+	+														
	小計		=	=				=	(16.7%)			(16.7%)			(25.0%)									
	施工時への配慮 (設計時評価、 設計業務を対象 に評価する イ、ロのいずれか を選択する。)	イ、'概略設計、 予備設計、 の場合	施工に関する一般的な知識		=			=	x	1	/100	x	1	/100	x	1	/100							
			施工条件等の把握		=				=	x	1	/100	x	1	/100	x	1	/100						
		小計		=	=				=	(4.2%)			(4.2%)			(6.3%)								
	設計業務を対象 に評価する イ、ロのいずれか を選択する。)	ロ、'詳細設計、 の場合	施工に関する一般的な知識		=			=	x			x			x									
			施工条件等の把握		=				=	x			x			x								
		小計		=	=				=															
	コスト把握能力 (設計業務を対象に評定する。)		コスト把握力		=			=	x	1	/100	x	1	/100	x	1	/100							
小計		=	=				=	(4.2%)			(4.2%)			(6.3%)										
管理技術力	工程管理能力 (減点評価)	実施手順、工程計画	2	=			=	x	2	/200	x	2	/200											
		実施体制	2	=																				
		打合せ内容の理解、記録	2	=																				
	内部関係者への情報伝達	2	=																					
	小計		=	=				=	(8.3%)			(8.3%)												
品質管理能力 (詳細設計以外は加点評価)		ミス防止の実施	1	=			=	x	2	/200	x	2	/200			x	2	/200						
小計		=	=				=	(8.3%)			(8.3%)			(66.7%)										
迅速性、弾力性、調整能力 (加点評価)		当初計画の変更	1	=			=	x	1	/100	x	1	/100											
小計		=	=				=	(4.2%)			(4.2%)													
コミュニケーション	説明力、プレゼンテーション 協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)		=			=	+	x	1	/100	x	1	/100	x	1	/100							
		理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)		=				=	+	x	1	/100	x	1	/100	x	1	/100						
小計		=	=				=	(4.2%)			(4.2%)			(6.3%)										
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性		=			=	+	x	2	/200	x	2	/200	x	2	/200							
		責任感、積極性、倫理観		=				=	+	x	2	/200	x	2	/200	x	2	/200						
小計		=	=				=	(8.3%)			(8.3%)			(12.5%)										
結果評価	成果品の品質	目的の達成度		=			=	+	x	7	/700	x	7	/700	x	4	/400							
		的確なとりまとめ		=				=	+	x	7	/700	x	7	/700	x	4	/400						
小計		=	=				=	(33.3%)			(33.3%)			(30.8%)										
小計		=	=				=	(33.3%)			(33.3%)			(30.8%)										
総合評定点の算定		= の評定点の加重平均点は (注3)								23	/2,300	(100.0%)		23	/2,300	(100.0%)		15	/1,500	(100.0%)		3	0.0 /300	(100.0%)
総合評定点の算定		事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)																						
総合評定点の算定		成果品に、受託者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記載された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く)																						
総合評定点の算定		総合評定点= + +																						

は、評定対象外。

は、必須評価項目。
は、選択評価項目。

注: 1. '担当技術者'はそれぞれ3人までとする。
2. 各評価項目の'業務評定'は少数第一位までとする。
3. '=' の評定点の加重平均点は、少数第一位を四捨五入し整数とする。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	標準	劣	1.0	0.8		
専 門 技 術 力 評 価	提案力 改善力 (加点评価)	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 <input type="checkbox"/> ・当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされた。注1)
		業務遂行段階における提案	40	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 <input type="checkbox"/> ・関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。
		業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・当該業務で不足する課題が抽出された。 <input type="checkbox"/> ・検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
		業務内容等改善の提案	20	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 <input type="checkbox"/> ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
	小計	100							
	業務執行 技術力	目的と内容の理解	20	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・業務(調査)計画書に必要事項が記載されていた。 <input type="checkbox"/> ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務(調査)計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 <input type="checkbox"/> ・特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されていた。
		必要情報の把握	20	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・業務着手時点において、適切に資料等が整備された。 <input type="checkbox"/> ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解、活用されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。
		検討項目、検討手法	20	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・検討項目は、特記仕様書等の設計図書の内容を満足していた。 <input type="checkbox"/> ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 <input type="checkbox"/> ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 <input type="checkbox"/> ・提案された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注)
打ち合わせ資料の内容(減点評価)		20	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.4」、" =2 「0.2」					<input type="checkbox"/> ・打ち合わせ資料に、業務の各段階で必要とされる内容が盛り込まれていなかった。 <input type="checkbox"/> ・打ち合わせ資料に大きなミスがあった。	
十分な技術力		20	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 <input type="checkbox"/> ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注)	
小計	100								

注) 「参考:採点上の補足」を参照のこと。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	標準	劣	1.0	0.8		
プロセス評価 専門技術力	施工時への配慮 (設計時評価) (設計業務を対象に評定する。イ、ロのいずれかを選択する。)	イ・概略設計・予備設計の場合	施工に関する一般的な知識 60 評価細目チェック数=0 「0.2」 “ =1 「0.4」、 “ =2 「0.6」 “ =3 「0.8」、 “ =4 「1.0」	<input type="checkbox"/> ・設計・図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 <input type="checkbox"/> ・施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。 <input type="checkbox"/> ・施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を有していた。 <input type="checkbox"/> ・施工方法が周辺環境におよぼす一般的な影響を理解していた。					
			施工条件の把握 40 評価細目チェック数=0 「0.2」 “ =1 「0.4」、 “ =2 「0.6」 “ =3 「0.8」、 “ =4 「1.0」		<input type="checkbox"/> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 <input type="checkbox"/> ・当該地域の環境特性を把握していた。 <input type="checkbox"/> ・担当者の施工に係わる要求事項を把握していた。 <input type="checkbox"/> ・契約図書及び発注者に指示された施工に係わる関係機関等の情報を把握した。				
		小計	100						
		ロ・詳細設計の場合	施工に関する一般的な知識 40 評価細目チェック数=0 「0.2」 “ =1 「0.4」、 “ =2 「0.6」 “ =3 「0.8」、 “ =4 「1.0」	<input type="checkbox"/> ・設計・図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 <input type="checkbox"/> ・施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。 <input type="checkbox"/> ・施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を有していた。 <input type="checkbox"/> ・施工方法が周辺環境におよぼす一般的な影響を理解していた。					
			施工条件の把握 30 評価細目チェック数=0 「0.2」 “ =1 「0.4」、 “ =2 「0.6」 “ =3 「0.8」、 “ =4 「1.0」		<input type="checkbox"/> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 <input type="checkbox"/> ・当該地点の環境特性を把握していた。 <input type="checkbox"/> ・担当者の施工に係わる要求事項を把握していた。 <input type="checkbox"/> ・契約図書及び発注者に指示された施工に係わる関係機関等の情報を把握した。				
	施工計画 (施工方法、仮設備計画) 30 評価細目チェック数=0 「0.2」 “ =1 「0.4」、 “ =2 「0.6」 “ =3 「0.8」、 “ =4 「1.0」		<input type="checkbox"/> ・必要事項を記載した施工計画が提案された。 <input type="checkbox"/> ・施工条件を的確に踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 <input type="checkbox"/> ・工事が周辺環境に及ぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 <input type="checkbox"/> ・当該工事箇所における施工上の留意事項が、重要度別かつ施工段階毎に適切に整理する提案がなされた。						
	小計	100							
	コスト把握能力 (設計業務を対象に評定する。)	コスト把握能力 100 評価細目チェック数=0 「0.2」 “ =1 「0.4」、 “ =2 「0.6」 “ =3 「0.8」、 “ =4 「1.0」	<input type="checkbox"/> ・工事費に関するコスト把握能力を有していた。 <input type="checkbox"/> ・現地条件などの固有条件がコストに及ぼす影響を理解していた。 <input type="checkbox"/> ・コスト縮減に係わる提案があった。 <input type="checkbox"/> ・ライフサイクルコストや新技術・新工法等の総合的なコストを念頭においたコスト縮減に係わる提案があった。						
		小計		100					

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	標準	劣	1.0	0.8		
ブ ロ セ ス 術 力 評 価	工程管理 能力 (減点評価)	実施手順、 工程計画	30	評価細目チェック数=0 「0.6」 〃 =1 「0.4」、〃 =2 「0.2」					<input type="checkbox"/> ・契約締結後14日以内に業務工程表が提出されないなど、速やかに業務着手がなされなかった。 <input type="checkbox"/> ・業務実施方針及び業務工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていないかった。
		実施体制	10	評価細目チェック数=0 「0.6」 〃 =1 「0.4」、〃 =2 「0.2」					<input type="checkbox"/> ・契約図書に基づき、管理技術者届け及び業務計画書が提出されなかった。 <input type="checkbox"/> ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行されなかった。
		打合せ内容 の理解、記録	10	評価細目チェック数=0 「0.6」 〃 =1 「0.4」、〃 =2 「0.2」					<input type="checkbox"/> ・打合せ記録簿が提出されなかった。 <input type="checkbox"/> ・打合せ記録簿の記載内容が打合せ結果を適切に反映してなかった。
		内部関係者 への情報伝 達	10	評価細目チェック数=0 「0.6」 〃 =1 「0.4」、〃 =2 「0.2」					<input type="checkbox"/> ・受注者内の意思疎通が不十分であり、指示や打合せ事項が資料等に反映されなかった。 <input type="checkbox"/> ・受注者内の意思疎通が不十分であり、同様な指示を何度も実施した。
		工程管理	40	評価細目チェック数=0 「0.6」 〃 =1 「0.4」、〃 =2 「0.2」					<input type="checkbox"/> ・工程に遅れが目立ち、履行期限内に納品されない恐れがあり、繰り返し指示を行った。(発注者側に遅延要因がある場合を除く。) <input type="checkbox"/> ・工程が業務計画書どおりでなく、関連する他の業務・事業等に影響を及ぼした。(発注者側に遅延要因がある場合を除く。)
	小計	100							
	品質管理 能力	イ 概 略 設 計 予 備 設 計	ミス防止の 実施 (加点評 価)	100	評価細目チェック数=0 「0.6」 〃 =1 「0.8」、〃 =2 「1.0」				<input type="checkbox"/> ・第三者(管理技術者、担当者、照査技術者)以外のチェック等自主的な品質管理の努力がなされていた。 <input type="checkbox"/> ・品質管理のためのシステム(ex.ISO9001)が構築されている部署で業務を行った。
			小計	100					
		ロ 詳 細 設 計	ミス防止の 実施	100	評価細目チェック数=0 「0.2」 〃 =1 「0.4」、〃 =2 「0.6」 〃 =3 「0.8」、〃 =4 「1.0」				<input type="checkbox"/> ・業務計画書等に、照査体制が記載されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務計画書等に照査担当者が配置されていた。 <input type="checkbox"/> ・チェックリスト等の品質管理の記録により、照査が実施されたことを確認できた。 <input type="checkbox"/> ・品質管理のためのシステム(ex.ISO9001)が構築されている部署で業務を行った。
	小計	100							
迅速性、 弾力性、 調整能力 (加点評価)	当初計画の 変更	40	評価細目チェック数=0 「0.6」 〃 =1 「0.8」、〃 =2 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・業務遂行中に生じた、当初工程計画からの変更要請に迅速に対応した。 <input type="checkbox"/> ・その結果生じた検討内容が特に優れていた。	
	関連事業者 間の調整	30	評価細目チェック数=0 「0.6」 〃 =1 「0.8」、〃 =2 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整のための資料が円滑に作成された。 <input type="checkbox"/> ・作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。	
	地元住民と の合意形成	30	評価細目チェック数=0 「0.6」 〃 =1 「0.8」、〃 =2 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・発注者からの指示に基づき、地元住民との合意形成のための資料が円滑に作成された。 <input type="checkbox"/> ・作成された資料の内容が特に良くまとめられていた。	
小計	100								

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	標準	劣	1.0	0.8		
プロ セ ス 二 ケ ー シ ョ ン カ 力	説明力、 プレゼン テーション 力 協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。
		理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 <input type="checkbox"/> ・質問に対する的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 <input type="checkbox"/> ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 <input type="checkbox"/> ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が用意に理解できた。
		説明を補う努力	20	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 <input type="checkbox"/> ・説明が不十分若しくは説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 <input type="checkbox"/> ・相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 <input type="checkbox"/> ・説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
		円滑な業務遂行への努力(加点評価)	20	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
	小計	100							
取 組 姿 勢	責任感、 積極性、 倫理観	責任感、積極性	100	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・管理技術者・調査技術者・担当技術者として、責任逃れの言動はなかった。 <input type="checkbox"/> ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
		小計	100						
結 果 評 価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。(注)
		的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取り纏めている。 <input type="checkbox"/> ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 <input type="checkbox"/> ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 <input type="checkbox"/> ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
		ミスの有無	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 <input type="checkbox"/> ・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった若しくはミスがなかった。 <input type="checkbox"/> ・修正が必要なミスはなかった。 <input type="checkbox"/> ・ミスは無く、必要書類等も完備されていた。
		小計	100						

注) 「参考:採点上の補足」を参照のこと。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	標準			劣		
1.0	0.8	0.6	0.4	0.2					
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」基準点、「0.8」、「1.0」を付与する。					<input type="checkbox"/> ・当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・その他(理由:)
	小計	100							
プロセス評価	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」基準点、「0.8」、「1.0」を付与する。					<input type="checkbox"/> ・企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社会全体として体制の拡充を図る等により、業務を完成させた。 <input type="checkbox"/> ・その他(理由:)
	小計	100							

評価項目	評価の視点	配点	得点率					配点	評価細目
			標準						
			優				劣		
1.0	0.8	0.6	0.4	0.2					
プロセス評価	業務執行技術力	検討項目、検討手法	50	評価項目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・検討項目は、特記仕様書等の設計図書の内容を満足していた。 <input type="checkbox"/> ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 <input type="checkbox"/> ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 <input type="checkbox"/> ・提案された検討手法は、従来技術を応用・統合あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。(注)
		十分な技術力	50	評価項目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					
	小計	100							
結果評価	コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、協調性	100	評価項目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・質問に対する確かな回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 <input type="checkbox"/> ・曖昧な表現がない。的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 <input type="checkbox"/> ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 <input type="checkbox"/> ・説明が不十分若しくは説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。
		小計	100						
	成果品の品質	目的の達成度	40	評価項目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> ・高度なレベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。(注)
的確なとりまとめ		30	評価項目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 <input type="checkbox"/> ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 <input type="checkbox"/> ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 <input type="checkbox"/> ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
ミスの有無		30	評価項目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						
小計	100								

注) 「参考:採点上の補足」を参照のこと。

(2) 建築設計業務 評定点集計表

		総括監督員	主任監督員(監督員)											
			総合	各分野										
				建築			電気設備			機械設備				
				意匠	構造	積算	電気設備	積算	機械設備	積算				
業務の実施能力	業務実施体制													
	管理技術者													
	主任担当技術者													
業務の実施状況	工程及び品質管理能力													
	調整能力、対応の迅速性、説明能力、倫理観													
	提案力、業務執行技術力													
	工程													
	業務執行技術力													
設計図書の出来栄	図面表記													
	図面の不足・単純ミス													
	資料等の整理													
	数量計算書、数量調書等													
	資料の整理													
設計の達成度	設計と条件の理解													
	提案内容、検討状況、コスト把握能力													
	施工面の知識													
評定点の計算	各分野評定点													
	各分野比率													
	x													
	総合評定点、各分野評定点の合計()													
	総合評定点、各分野評定点の合計の比率													
	x													
	総括監督員評定点、主任監督員評定点()													
	総括監督員評定点、主任監督員評定点の比率													
x														
評定点()														

印は評定範囲をしめす。

		検査職員							
		各分野							
		建築			電気設備			機械設備	
		意匠	構造	積算	電気設備	積算	機械設備	積算	
設計図書の出来栄	図面表記								
	図面の不足・単純ミス								
	資料等の整理								
	数量計算書、数量調書等								
	資料の整理								
設計の達成度	設計と条件の理解								
	提案内容、検討状況、コスト把握能力								
	施工面の知識								
検査職員評定点の計算	各分野評定点								
	各分野比率								
	x								
	総合評定点、各分野評定点の合計()								

印は評定範囲をしめす。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
業務の実施能力	業務実施体制	6	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						<ul style="list-style-type: none"> 契約図書に基づき、管理技術者届けが提出された。 業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行されていた。 業務を効率的あるいは円滑に遂行できるよう、適切な構成となっていた。 業務を効率的あるいは円滑に遂行できるよう、必要な人員数が確保されていた。
	業務の全体把握	5	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						<ul style="list-style-type: none"> 内部関係者への情報伝達が確認された。 内部関係者への情報伝達にミスがなかった。 内部関係者への情報伝達は迅速であった。 管理技術者は、業務遂行に係わるあらゆる状況を理解していた。
	技術者・業務の管理調整及びコスト管理	6	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						<ul style="list-style-type: none"> 技術者・業務の管理調整を十分に行い、設計と条件等と整合が取れていた。 技術者・業務の管理調整を十分に行い、図面、資料等に間違い、くいちがい等がなかった。 コスト管理が十分に行われ、工事費予定額内に納まった。 コスト管理が十分に行われ、コスト配分がバランスよくなされていた。
	適切な工程管理	5	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						<ul style="list-style-type: none"> 契約締結後14日以内に業務工程表が提出されるなど、速やかに業務着手がなされた。 業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた。 打合せ頻度は、十分なものであった。 打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。
	設計と条件の確かな理解、円滑な業務遂行	2	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						<ul style="list-style-type: none"> 当該業務の一般的な特性が考慮されていた。 当該業務固有の特性が考慮されていた。 環境、文化、経済等の地域特性まで、当該業務の特性が多面的に考慮されていた。 当該業務の目的、内容が理解されていた。
	指示、協議事項に対する対応	2	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						<ul style="list-style-type: none"> 発注者からの指示に対して、迅速な対応がなされた。 質問に対する確かな回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
	創意工夫、積極的な提案	5	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						<ul style="list-style-type: none"> 業務遂行の各段階で提案がなされた。 業務内容に合致した提案がなされた。 関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。 今後の検討課題が提案された。
	事前準備、技術的検討	2	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						<ul style="list-style-type: none"> 業務着手時点において、資料等の提供依頼があった。 業務実施の各段階で、必要な情報がリストアップされていた。 採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。
	積極的な取り組み姿勢、責任感の強さ	2	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						<ul style="list-style-type: none"> 管理技術者として、業務の取組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 打合せにおいて不明な事項については、その場で説明を求めた。 業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
合計		35							
評定点			合計+65						

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
業務の実施能力	主任担当技術者	分担業務間の調整	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」				<ul style="list-style-type: none"> 発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整を行った。 調整の結果、期待される効果が得られた。 分野間(意匠、構造、設備)の整合が取られており、くいちがいほとんど無かった。 ミスは無く、照査記録等も完備されていた。 	
		技術者・業務の管理調整、図面・資料のくい違い	2	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」				<ul style="list-style-type: none"> 技術者・業務の管理調整を十分に行い、設計と条件と整合が取れていた。 技術者・業務の管理調整を十分に行い、契約図書と整合が取れていた。 技術者・業務の管理調整を行った。 図面・資料等に間違い、くいちがい等が無かった。 	
		適切な工程管理	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」				<ul style="list-style-type: none"> 打合せ頻度は、十分なものであった。 契約図書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。 打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握出来る状態にあった。 	
		積極的な取り組み姿勢、責任感の強さ	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」				<ul style="list-style-type: none"> 主任担当技術者として、業務の取組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 打合せにおいて不明な事項については、その場で説明を求めてきた。 業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。 	
	小計	5							

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
工程及び品質管理能力	ミスの有無	1.5	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ・ 修補が必要なミスは、ほとんど無かった。 ・ 誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・ ミスは無く、照査記録等も完備されていた。 	
	工程に対する管理	1.5	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						<ul style="list-style-type: none"> ・ 立案された実施手順と工程計画は、整合が図られ、かつ業務内容に適合したものであった。 ・ 実施手順の設定、工程計画の立案にあたり、業務を効率的あるいは円滑に遂行するための工夫がなされていた。 ・ 契約図書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 ・ 打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況をほぼ把握出来る状態にあった。
業務の実施状況	調整能力、対応の迅速性、説明能力、倫理観	1.5	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境、文化、経済等の地域特性まで、当該業務の特性が多面的に考慮されていた。 ・ 当該業務の目的、内容が理解されていた。 ・ 適正な維持管理に関する十分な知識を有していた。 ・ 業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。 	
	打合せ内容の理解、記録		評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						<ul style="list-style-type: none"> ・ 打合せごとに、打合せ記録簿が作成された。 ・ 打合せ後、遅延無く打合せ記録簿が提出された。 ・ 打合せ記録簿は、打合せ結果を的確に反映していた。 ・ 打合せ後の対応(追加資料送付、進行状況連絡等)は、打合せ結果の内容に沿ったものであった。
	指示、協議事項に対する対応		評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						
	内容の説明力、プレゼンテーション能力		評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						<ul style="list-style-type: none"> ・ 図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 ・ 文章表現が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 ・ 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 ・ 説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
提案力、業務執行技術力	創意工夫、積極的な提案	2	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該業務で不足する課題が抽出されていた。 ・ 事業の早期実施に向けた一連の検討課題が提案された。 ・ 業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ・ 業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。 	
	事前準備、技術的検討	1.5	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ・ 業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。 ・ 検討項目は、特記仕様書等の契約図書の項目を満足していた。 ・ 採用された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
	関係法規の理解、特定行政庁等との調整	1.5	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						
小計		14							

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
設計図書 の出来栄	図面表記	目的の達成度	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」				<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、図面等の不整合がなく、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。 	
	図面の不足・単純ミス	ミスの有無	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」			<ul style="list-style-type: none"> ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ・修補が必要なミスは、ほとんど無かった。 ・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・ミスは無く、照査記録等も完備されていた。 		
		十分な書き込み	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」			<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。 		
	資料等の整理	的確なとりまとめ	0.5	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」			<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫が見られる。 ・契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 		
小計		3.5							

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目				
			優	やや	普通	やや	劣						
			1.0	0.5	0	-0.5	-1						
設計と条件の理解	設計と条件の理解	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> ・関連業務も含めた事業全体の特性が考慮されていた。 ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ・当該業務と他の業務、事業の関連が理解されていた。 					
	困難な場合の設計と条件の整理	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						<ul style="list-style-type: none"> ・業務着手時点において、資料等の提供依頼があった。 ・業務実施の各段階で、必要な情報がリストアップされていた。 ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。 				
設計の達成度	提案内容、検討状況、コスト把握能力	創意工夫、積極的な提案	3	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務で不足する課題が抽出されていた。 ・事業の早期実施に向けた一連の検討課題が提案された。 ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。 			
		十分な技術的検討	1.5	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書の内容を満足していた。 ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ・従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。 				
		分担業務間の調整	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」							<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整を行った。 ・調整の結果、期待される効果が得られた。 ・分野間(意匠、構造、設備)の整合が取られており、くいちがいがほとんど無かった。 ・ミスは無く、照査記録等も完備されていた。 		
		コスト管理及びコスト縮減	3	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」								<ul style="list-style-type: none"> ・工事費に関するコスト把握能力を有していた。 ・ライフサイクルコスト(建設費、運用管理費及び解体再利用費)も含めたコスト把握力を有していた。 ・コスト縮減に係わる提案があった。 ・ライフサイクルコスト等の総合的なコストを念頭においたコスト縮減に係わる提案があった。 	
		環境	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」									<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン庁舎に対する積極的な提案があった。 ・グリーン庁舎計画指針等が十分に理解されていた。 ・建設リサイクルに対する積極的な提案があった。 ・建設リサイクルに対して理解を示していた。
		施工面の知識 (イ、ロのいずれかを 選択する。 また、配点は、いずれ の場合も「1」とす る。)	イ 基本設計のみ	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」								
ロ その他	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 							
小計		12.5											
合計		35											
評定点		合計+65											

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
業務の実施能力	業務実施体制	2	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務を実施する上で、効率的あるいは円滑に遂行できるよう、必要な人員数が確保されていた。 ・当該業務を実施する上で十分な能力を有する担当者であった。(資格者が適切に配置されていた) ・責任者が明確であり指示、伝達が円滑に遂行できるようになっていた。 ・積算システムを熟知していた。 	
	業務の取り組み姿勢	2	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						<ul style="list-style-type: none"> ・設計図記載事項に関する確認・調整が確実に行われた。 ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。 ・設計図書に対する質疑も適切であり、記録も正確に整備されている。 ・図面の修正を必要とする間違い、食い違い等が確実に修正されたか確認を迅速に行った。
	分担業務間の管理・調整	2	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						
	適切な工程管理	2	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						<ul style="list-style-type: none"> ・打合せ頻度は、十分なものであった。 ・契約図書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握出来る状態にあった。 ・図面修正等に対し、適切な工程見直しが行われた。
	積極的な取り組み姿勢、責任感の強さ	2	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						
小計		10							

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目		
			優	やや	普通	やや	劣				
			1.0	0.5	0	-0.5	-1				
業務執行技術力	工程	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況をほぼ把握できる状態にあった。 ・工程計画は、業務内容に適合したものであった。 ・業務を効率的に遂行するための工夫がなされていた。 ・履行期間内に、発注者・受注者相互で内容が確認された成果品が提出された。 			
	事前準備、技術的検討	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						<ul style="list-style-type: none"> ・業務実施に必要な情報が適切に収集・整理されていた。 ・見積り処理において、仕様も熟知しており、対応も適切であった。 ・発注者の積算基準等を熟知し、業務に対して十分な技術力を有していた。 ・設計図を十分に理解し、疑問、不整合に対しての質疑が確であり、設計にも十分反映された。 		
	設計図書理解力	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」							<ul style="list-style-type: none"> ・設計図を正確に読み取る能力が十分であった。 ・仕様書、標準図等の関連図書の内容も十分把握している。 ・設計図書内の不整合点を把握し的確に報告している。 ・不整合点等に対し、適切な修正案を提案している。 	
	積算基準類習熟度	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」								<ul style="list-style-type: none"> ・数量積算基準を十分理解している。 ・歩掛り、単価等の適用を十分理解している。 ・内訳書標準書式に対応した数量調書となっている。 ・各種計算書が、基準に準拠している。
	営繕積算システム	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」								
小計		5									
設計図書の出来栄	数量計算書、数量調書等	15	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> ・適用基準類では対処できない項目についてなど、検討事項の整理が適切になされていた。 ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ・集計表等がわかりやすく編集されており、チェックが容易である。 ・資料に記載されている文章表現等が、簡潔で理解しやすいものとなっていた。 			
	資料の整理	5	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						<ul style="list-style-type: none"> ・成果品との関連が理解できるような適切な整理がなされていた。 ・資料の取りまとめに、受注者固有の創意工夫が見られ、発注者が理解しやすかった。 ・契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 		
	小計		20								
合計		35									
評定点		合計+65									

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
業務の実施能力	業務実施体制	実施体制	2	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」				<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書に基づき、管理技術者届けが提出された。 ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行されていた。 ・業務を効率的あるいは円滑に遂行できるよう、適切な構成となっていた。 ・業務を効率的あるいは円滑に遂行できるよう、必要な人員数が確保されていた。 	
	管理技術者	管理技術者としての資質	5	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」				<ul style="list-style-type: none"> ・業務全体を把握し、技術者・業務の管理調整を行った。 ・適切な工程、コスト管理を行った。 ・設計と条件を的確に理解しており、円滑な業務遂行がなされた。 ・創意工夫や積極的な取り組み姿勢が見られ、責任感の強さが感じられた。 	
	主任担当技術者	主任担当技術者としての資質	3	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」				<ul style="list-style-type: none"> ・分担業務間の調整を行った。 ・技術者、業務の管理・調整を十分に行い、図面・資料等に間違い、くいちがい等がなかった。 ・適切な工程管理を行っていた。 ・積極的な取り組み姿勢が見られ、責任感の強さが感じられた。 	
	小計		10						
業務の実施状況	工程及び品質管理能力	工程に対する管理能力	2	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」				<ul style="list-style-type: none"> ・立案された実施手順と工程計画は、整合が図られ、かつ業務内容に適合したものであった。 ・実施手順の設定、工程計画の立案にあたり、業務を効率的あるいは円滑に遂行するための工夫がなされていた。 ・契約図書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握出来る状態にあった。 	
	調整能力、対応の迅速性、説明能力、倫理観	設計と条件の理解、打合せ時の対応、説明能力	4	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」				<ul style="list-style-type: none"> ・設計と条件を的確に理解しており、円滑な業務遂行がなされた。 ・打合せごとに、打合せ記録簿が作成、提出された。 ・打合せ後の対応（追加資料送付、進行状況連絡等）が、打合せ結果の内容に沿ったものであった。 ・理解しやすい資料となっており、説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。 	
	提案力、業務執行技術力	提案力、技術力	4	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」				<ul style="list-style-type: none"> ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。 ・業務の内容・精度、作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ・従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。 ・関係法規等を十分に理解していた。 	
	小計		10						
設計図書の出来栄	図面表記	目的の達成度	2	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」				<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。 	
	図面の不足・単純ミス	十分な書き込み、ミスの有無	2	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」				<ul style="list-style-type: none"> ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・業務成果は、図面等の不整合がなく、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。 	
	資料等の整理	的確なとりまとめ	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」				<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫が見られる。 ・契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 	
	小計		5						

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1.0	0.5	0	-0.5	-1			
設計の達成度	設計と条件の理解	設計と条件の理解・整理	2	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> 設計と条件を十分に理解していた。 当該業務と他の業務、事業の関連が理解されていた。 業務実施の各段階で、必要な情報がリストアップされていた。 業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 	
	提案内容、検討状況、コスト把握能力	創意工夫、積極的な提案、分担業務間の調整、コスト管理	7	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> プロポーザルで提案した内容が十分設計時に検討され、成果品に反映できた。(プロポーザルの場合) 創意工夫をこらすなどにより、積極的な提案を行っていた。(プロポーザル以外の場合) 十分な技術的検討がなされた。 分担業務間の調整を行った。 適切なコスト管理を行った。 	
	施工面の知識 (イ、ロのいずれかを選択する。また、配点は、いずれの場合も「1」とする。)	イ 基本設計のみ	施工に関する一般的な知識	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> 施工に関する一般的な知識を有していた。 新技術等に関する知識を持ち、高度な設計を行った。 当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 当該地域の環境特性を把握していた。
		ロ その他	施工に関する一般的な知識		<ul style="list-style-type: none"> 当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 当該地域の環境特性を把握していた。 施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 					
小計		10								
合計		35								
評定点		合計+65								

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
設計図書 の出来栄	図面表記	目的の達成度	2.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・ 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・ 業務成果は、図面等の不整合がなく、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・ 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
	図面の不足・単純ミス	ミスの有無	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ・ 修補が必要なミスは、ほとんど無かった。 ・ 誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・ ミスは無く、照査記録等も完備されていた。
		十分な書き込み	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・ 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・ 業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・ 厳しい工期、高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
	資料等の整理	的確なとりまとめ	2	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・ 理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・ 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫が見られる。 ・ 契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
小計			10.5						

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
設計と条件の理解	設計と条件の理解	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> ・関連業務も含めた事業全体の特性が考慮されていた。 ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ・当該業務と他の業務、事業の関連が理解されていた。 	
	困難な場合の設計と条件の整理	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> ・業務着手時点において、資料等の提供依頼があった。 ・業務実施の各段階で、必要な情報がリストアップされていた。 ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。 	
設計の達成度	提案内容、検討状況、コスト把握能力	創意工夫、積極的な提案	4	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務で不足する課題が抽出されていた。 ・事業の早期実施に向けた一連の検討課題が提案された。 ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
		十分な技術的検討	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書項目を満足していた。 ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ・採用された検討手法は、従来技術を活用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
		分担業務間の調整	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整を行った。 ・調整の結果、期待される効果が得られた。 ・分野間（意匠、構造、設備）の整合が取られており、くいちがいがほとんど無かった。 ・ミスは無く、照査記録等も完備されていた。
		コスト管理及びコスト縮減	4	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> ・工事費に関するコスト把握能力を有していた。 ・ライフサイクルコスト（建設費、運用管理費及び解体再利用費）も含めたコスト把握能力を有していた。 ・コスト縮減に係わる提案があった。 ・ライフサイクルコスト等の総合的なコストを念頭においたコスト縮減に係わる提案があった。
		環境	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン庁舎に対する積極的な提案があった。 ・グリーン庁舎計画指針等が十分に理解されていた。 ・建設リサイクルに対する積極的な提案があった。 ・建設リサイクルに対して理解を示していた。
		施工に関する一般的な知識	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> ・施工に関する一般的な知識を有していた。 ・新技術等に関する知識を持ち、高度な設計を行った。 ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。
施工面の知識 (イ、ロのいずれかを選択する。また、配点は、いずれの場合も「1」とする。)	イ 基本設計のみ	施工に関する一般的な知識	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。
	ロ その他	施工に関する一般的な知識		評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。
小計		24.5							
合計		35							
評定点		合計+65							

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1.0	0.5	0	-0.5	-1			
設計図書 の出来栄	数量計算書、数量調書等	成果品のレベル	20	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						<ul style="list-style-type: none"> ・適用基準類では対処できない項目についてなど、検討事項の整理が適切になされていた。 ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった ・集計表等がわかりやすく編集されており、チェックが容易である。 ・資料に記載されている文章表現等が、簡潔で理解しやすいものとなっていた。
	資料の整理	的確なとりまとめ		15	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					
合計			35							
評定点				合計+65						

(3) 測量業務・地質土質調査業務 評定点集計表

評価項目	評価の視点	主任監督員(監督員)		総括監督員		検査職員		評定点 (注2)	業務評定												
		得点	調整後の 評定点	得点	調整後の 評定点	得点	調整後の 評定点		管理技術者、主任技術者		技術者評定 担当技術者(注1)		照査技術者								
									評定点	加重平均点の算出	評定点	加重平均点の算出	評定点	加重平均点の算出	評定点	加重平均点の算出					
																	重み	= /満点	重み	= /満点	重み
専門技術力	提案力、改善力 (加点評価)	業務着手段階における業務特性等の考慮	1	=				=	x	2	/200	x	2	/200	x	2	/200				
		業務遂行段階における提案	1	x 10/10																	
		業務遂行上必要となる課題の提案	1																		
		業務内容等改善の提案	1																		
	小計	=	=					=	(9.5%)			(9.5%)			(15.4%)						
	業務執行技術力	目的と内容の理解		=				=													
		必要情報の把握		=		=		=													
		検討項目、検討手法 打ち合わせ資料の内容(減点評価)	2	x 1/10		x 5/10		x 4/10	=	x	4	/400	x	4	/400	x	4	/400			
		十分な技術力	2						=	+	+										
	小計	=	=		=		=	=	(19.0%)			(19.0%)			(30.8%)						
	施工時への配慮 (設計時評価、設計業務を対象に評価するイ、ロのいずれかを選択する。)	イ、「概略設計、予備設計」の場合	施工に関する一般的な知識																		
			施工条件等の把握																		
		小計																			
		ロ、「詳細設計」の場合	施工に関する一般的な知識																		
	施工条件等の把握 施工計画(施工方法、仮設備計画)																				
小計																					
コスト把握能力 (設計業務を対象に評定する。)	コスト把握能力																				
	小計																				
工程管理能力 (減点評価)	実施手順、工程計画	2																			
	実施体制	2	=																		
	打合せ内容の理解、記録 内部関係者への情報伝達	2	x 10/10					=	x	2	/200	x	2	/200							
	工程管理	2																			
小計	=	=					=	(9.5%)			(9.5%)										
品質管理能力 (詳細設計以外は加点評価)	ミス防止の実施	1	x 10/10					=	x	2	/200	x	2	/200	x	2	/200				
	小計	=	=					=	(9.5%)			(9.5%)			(66.7%)						
迅速性、弾力性、調整能力 (加点評価)	当初計画の変更	1																			
	関連業者間の調整 地元住民との合意形成	1	x 10/10					=	x	1	/100	x	1	/100							
	小計	=	=					=	(4.8%)			(4.8%)									
コミュニケーション 協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)																				
	理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)																				
	説明を補う努力 円滑な業務遂行への努力(加点評価)	1	x 1/10				x 9/10	=	+	x	1	/100	x	1	/100	x	1	/100			
小計	=	=					=	(4.8%)			(4.8%)			(7.7%)							
取組姿勢	責任感、積極性																				
	責任感、積極性、倫理観		x 1/10		x 9/10			=	+	x	2	/200	x	2	/200	x	2	/200			
小計	=	=					=	(9.5%)			(9.5%)			(15.4%)							
結果評価	成果品の品質	目的の達成度																			
		的確なとりまとの																			
		ミスの有無		x 1/10				x 9/10	=	+	x	7	/700	x	7	/700	x	4	/400		
小計	=	=					=	(33.3%)			(33.3%)			(30.8%)			(33.3%)				
総合評定点の算定		= の評定点の加重平均点は (注3)								21.0	/2,100	(100.0%)	21.0	/2,100	(100.0%)	13.0	/1,300	(100.0%)	3.0	/300	(100.0%)
		事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)																			
		の成果品に、受託者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く)																			
		総合評定点= + +																			

は、評定対象外。

は、必須評価項目、
は、選択評価項目。

注: 1. 「担当技術者」はそれぞれ3人までとする。

2. 各評価項目の「業務評定」は少数第一位までとする。

3. 「=」の評定点の加重平均点は、少数第一位を四捨五入し整数とする。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	標準	劣	1.0	0.8		
専門 技術 評価	提案力 改善力 (加点点 評価)	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・当該作業(業務)の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 <input type="checkbox"/> ・当該作業(業務)の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされた。(注)
		業務遂行段階における提案	40	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・作業(業務)遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 <input type="checkbox"/> ・関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。(注)
		業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・当該作業(業務)で不足する課題が抽出された。 <input type="checkbox"/> ・検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
		業務内容等改善の提案	20	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・作業(業務)の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 <input type="checkbox"/> ・作業(業務)の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
		小計	100						
	業務執行 技術力	目的と内容の理解	20	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・業務(調査)計画書に必要事項が記載されていた。 <input type="checkbox"/> ・当該作業(業務)の目的、内容が理解されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務(調査)計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。(注) <input type="checkbox"/> ・特記仕様書等に示された当該作業(業務)と関連する他の作業(業務)、事業が理解されていた。
		必要情報の把握	20	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・作業(業務)着手時点において、適切に資料等が整備された。 <input type="checkbox"/> ・作業(業務)実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 <input type="checkbox"/> ・作業(業務)遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 <input type="checkbox"/> ・作業(業務)遂行段階で、当該作業(業務)に有意な情報が自主的に提供された。
		検討項目、検討手法	20	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・検討項目は、特記仕様書等の設計図書項目を満足していた。 <input type="checkbox"/> ・採用された検討手法の技術的内容は、作業(業務)の目的に適合していた。 <input type="checkbox"/> ・作業(業務)目的に照らし必要な調査又は作業項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 <input type="checkbox"/> ・提案された作業(業務)手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注1)
		打ち合わせ資料の内容(減点評価)	20	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.4」、" =2 「0.2」					<input type="checkbox"/> ・打ち合わせ資料に、作業(業務)の各段階で必要とされる内容が盛り込まれていなかった。 <input type="checkbox"/> ・打ち合わせ資料に大きなミスがあった。
		十分な技術力	20	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・作業(業務)に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> ・特記仕様書等に示された当該作業(業務)固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。(測量においては、作業に応じた機器等が配置されていたこともあわせて評価する。) <input type="checkbox"/> ・作業(業務)遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 <input type="checkbox"/> ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。(注)
小計	100								

(注) 「参考:採点上の補正」を参照のこと。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	標準		劣			
1.0	0.8	0.6	0.4	0.2					
工程管理 能力 (減点評価)	実施手順、 工程計画	30	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.4」、" =2 「0.2」						<input type="checkbox"/> ・契約締結後14日以内に作業(業務)工程表が提出されないなど、速やかに作業(業務)着手がなされなかった。 <input type="checkbox"/> ・作業(業務)実施方針及び作業(業務)工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていなかった。
	実施体制	10	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.4」、" =2 「0.2」						<input type="checkbox"/> ・契約図書に基づき、管理技術者届け及び調査(業務)計画書が提出されなかった。 <input type="checkbox"/> ・調査(業務)計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行されなかった。
	打合せ内容 の理解、記録	10	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.4」、" =2 「0.2」						<input type="checkbox"/> ・打合せ記録簿が提出されなかった。 <input type="checkbox"/> ・打合せ記録簿の記載内容が打合せ結果を適切に反映してなかった。
	内部関係者 への情報伝 達	10	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.4」、" =2 「0.2」						<input type="checkbox"/> ・受注者内の意思疎通が不十分であり、指示や打ち合わせ事項が資料等に反映されなかった。 <input type="checkbox"/> ・受注者内の意思疎通が不十分であり、同様な指示を何度も実施した。
	工程管理	40	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.4」、" =2 「0.2」						<input type="checkbox"/> ・工程に遅れが目立ち、履行期限内に納品されない恐れがあり、繰り返し指示を行った。(発注者側に遅延要因がある場合を除く) <input type="checkbox"/> ・工程に遅れが目立ち、関連する他の業務・事業等に影響を及ぼした。(発注者側に遅延要因がある場合を除く)
小計	100								
品質管理 能力 (加点評価)	ミス防止の 実施	100	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<input type="checkbox"/> ・第3者(管理技術者、担当者、照査技術者)以外のチェック等自主的な品質管理の努力がなされていた。 <input type="checkbox"/> ・品質管理のためのシステム(ex.ISO9001)が構築されている部署で作業(業務)を行った。
	小計	100							
迅速性、 弾力性、 調整能力 (加点評価)	当初計画の 変更	40	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<input type="checkbox"/> ・業務遂行中に生じた、当初工程計画からの変更要請に迅速に対応した。 <input type="checkbox"/> ・その結果生じた検討(作業)内容が特に優れていた。
	関連事業者 間の調整	30	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<input type="checkbox"/> ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整のための資料が円滑に作成された。 <input type="checkbox"/> ・作成された資料の内容が特に良くとらめられていた。
	地元住民と の合意形成	30	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<input type="checkbox"/> ・発注者からの指示に基づき、地元住民との合意形成のための資料が円滑に作成された。 <input type="checkbox"/> ・作成された資料の内容が特に良くとらめられていた。
小計	100								

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	標準	劣	1.0	0.8		
プロセス コミュニケーション 力	説明力、 プレゼンテーション力 協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。
		理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 <input type="checkbox"/> ・質問に対する的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 <input type="checkbox"/> ・一般論と当該作業(業務)固有の議論が明確に区別されていた。 <input type="checkbox"/> ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が用意に理解できた。
		説明を補う努力	20	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 <input type="checkbox"/> ・説明が不十分若しくは説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 <input type="checkbox"/> ・相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 <input type="checkbox"/> ・説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
		円滑な業務遂行への努力(加点点評価)	20	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・密に作業(業務)の進捗状況等が発注者に報告されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務(業務)遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
	小計	100							
	取組姿勢	責任感、 積極性、 倫理観	責任感、積極性	100	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」				<input type="checkbox"/> ・管理技術者・照査技術者・担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。 <input type="checkbox"/> ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			小計	100					
	結果 評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」				<input type="checkbox"/> ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・作業(業務)遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・作業(業務)成果は、作業(業務)目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業(業務)に対し必要な作業(業務)成果が得られた。(注)
			的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」				<input type="checkbox"/> ・設計図書にある検討項目、作業(業務)遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 <input type="checkbox"/> ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 <input type="checkbox"/> ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 <input type="checkbox"/> ・設計図書にある事項、作業(業務)遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
			ミスの有無	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」				<input type="checkbox"/> ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 <input type="checkbox"/> ・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった若しくはミスがなかった。 <input type="checkbox"/> ・修正が必要なミスは無かった。 <input type="checkbox"/> ・ミスは無く、必要書類等も完備されていた。
小計			100						

(注) 「参考:採点上の補足」を参照のこと。

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				標準						
				優	標準			劣		
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」基準点、「0.8」、「1.0」を付与する。						<input type="checkbox"/> ・当該作業(業務)の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該作業(業務)に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該作業(業務)に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該作業(業務)の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該作業(業務)に必要なとされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・その他(理由:)
		小計	100							
	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性、倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」基準点、「0.8」、「1.0」を付与する。					
		小計	100							

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			優	標準	劣					
1.0	0.8	0.6	0.4	0.2						
プロセス評価	業務執行技術力	検討項目、検討手法	50	評価項目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・検討項目は、特記仕様書等の設計図書項目を満足していた。 <input type="checkbox"/> ・採用された検討手法の技術的内容は、作業(業務)の目的に適合していた。 <input type="checkbox"/> ・作業(業務)目的に照らし必要な調査又は作業項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 <input type="checkbox"/> ・提案された作業(業務)手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。(注)	
		十分な技術力	50	評価項目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<input type="checkbox"/> ・作業(業務)に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> ・特記仕様書等に示された当該作業(業務)固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。(測量においては、作業に応じた機器等が配置されていたこともあわせて評価する) <input type="checkbox"/> ・作業(業務)遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 <input type="checkbox"/> ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。(注)
	小計	100								
	コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、協調性	説明力、プレゼンテーション力、協調性	100	評価項目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・質問に対する確かな回答がなされ、一般論と当該作業(業務)固有の議論が明確に区別されていた。 <input type="checkbox"/> ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 <input type="checkbox"/> ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 <input type="checkbox"/> ・説明が不十分若しくは説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。
小計	100									
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価項目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・作業(業務)遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・作業(業務)成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> ・高度なレベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業(業務)に対し必要な作業(業務)成果が得られた。(注)	
		的確なとりまとめ	30	評価項目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<input type="checkbox"/> ・設計図書にある検討項目、作業(業務)遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 <input type="checkbox"/> ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 <input type="checkbox"/> ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 <input type="checkbox"/> ・設計図書にある事項、作業(業務)遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
		ミスの有無	30	評価項目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						
	小計	100								

(注) 「参考:採点上の補足」を参照のこと。